



2026年9月2日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

14,264万kW

13時30分、142,643 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

4,280万kW

12時、42,803 MW (自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

190万kW

0時30分、1,895 MW

◇ 再エネ最大需要比

40.1%

12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

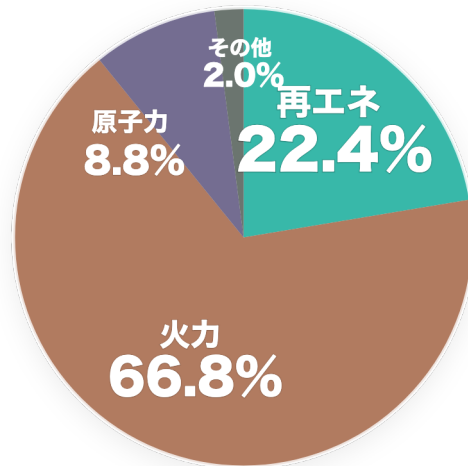
東京

116 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

114 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 44.9%

35.2 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

61.4 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、13:30に4,525万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで44.9%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	22.4%	発電電力量ベース
再エネ発電量	625 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	2,796 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	40.1%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電の充電	61.4 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	44.9%	35.2	0.0	送電 6.5
東北	28.7%	97.3	0.0	送電 114
東京	17.5%	134	0.0	受電 116
中部	25.4%	92.5	0.0	受電 70.0
北陸	34.8%	31.5	0.0	送電 2.5
関西	15.4%	69.1	0.0	受電 45.4
中国	22.1%	48.0	0.0	送電 19.7
四国	20.2%	22.4	0.0	送電 28.2
九州	26.0%	92.1	0.0	送電 38.2
沖縄	11.8%	3.5	0.0	—



2026年9月2日の供給実績

北海道エリア

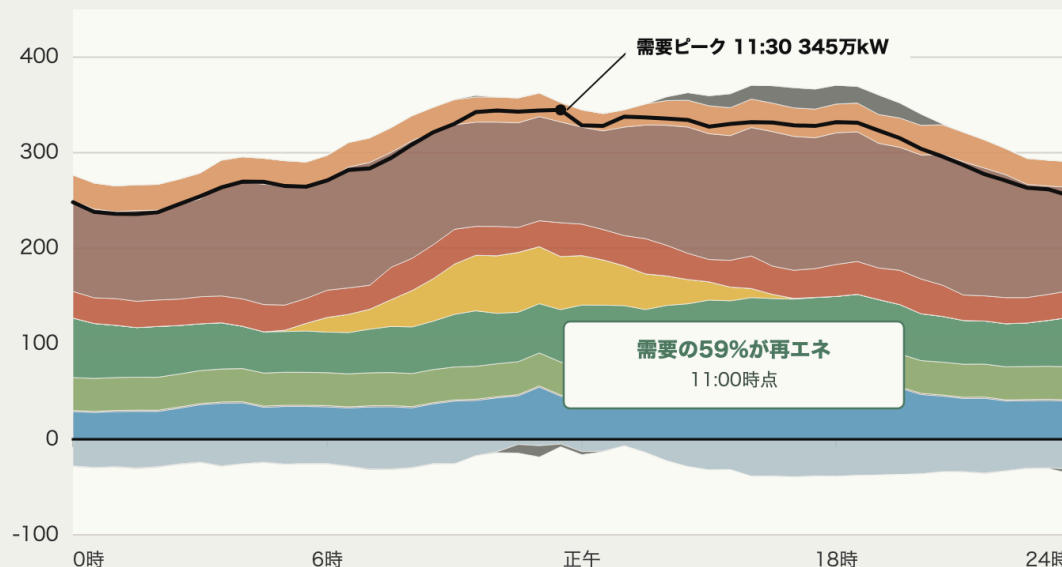
再エネ

35.2GWh

(発電電力量ベース44.9%)

北海道エリア 2026年9月2日の供給実績（残余需要方式）

万kW



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

78.4GWh

需要ピーク

11:30、345万kW

連系線・その他

6.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク63万kW、風力ピーク66万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.6%だった。



2026年9月2日の供給実績

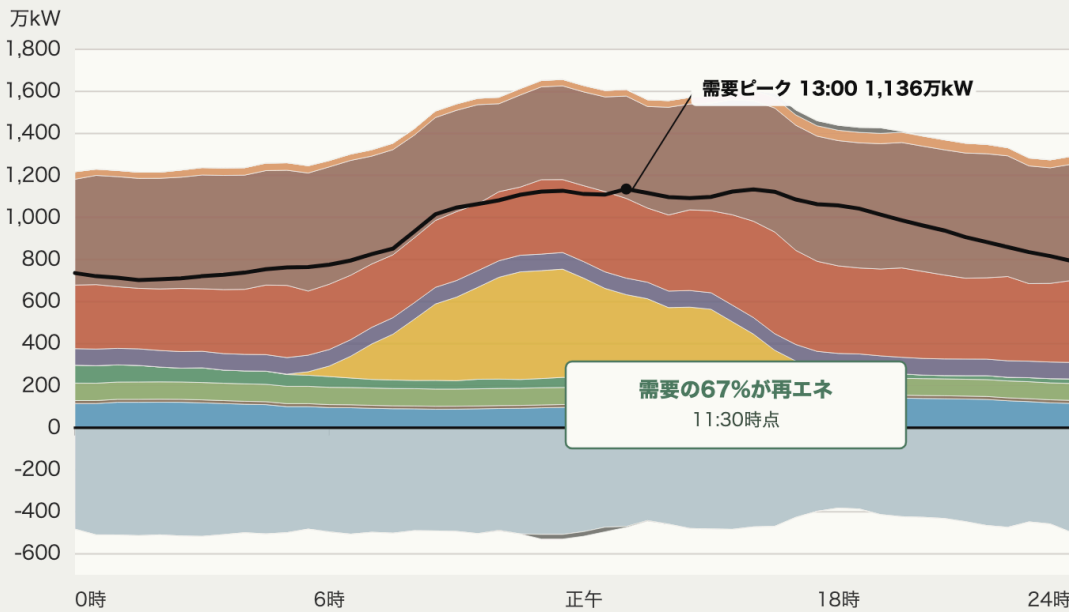
東北エリア

再エネ

97.3GWh

(発電電力量ベース28.7%)

東北エリア 2026年9月2日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 339GWh
(3,390万kWh)

再エネ	97.3GWh (28.7%)
太陽光	35.7GWh (10.5%)
水力	27.7GWh (8.2%)
風力	11.0GWh (3.2%)
バイオマス	19.6GWh (5.8%)
地熱	3.3GWh (1.0%)
LNG火力	85.8GWh (25.3%)
石炭火力	127.5GWh (37.6%)
石油等火力	8.8GWh (2.6%)
原子力	18.9GWh (5.6%)
揚水・蓄電	0.8GWh (0.2%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

339.0GWh

需要ピーク

13:00、1,136kW

連系線・その他

114.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク515万kW、風力ピーク86万kWで、時間別の再エネ最大需要比は66.9%だった。



2026年9月2日の供給実績

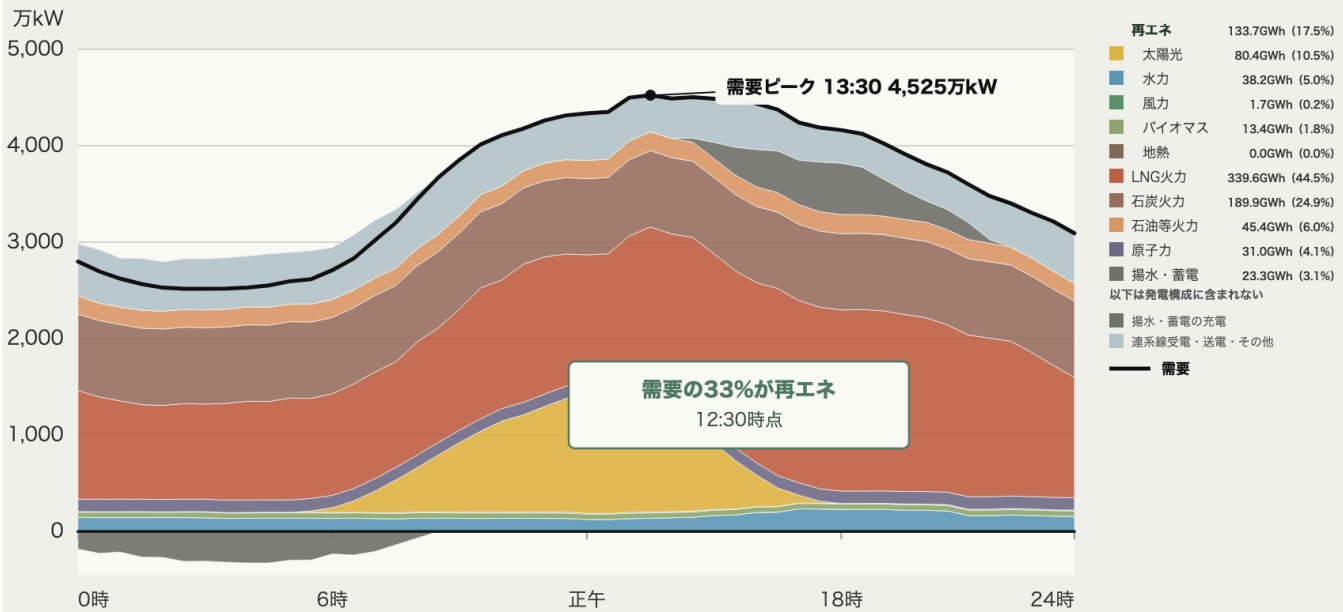
東京エリア

再エネ

133.7GWh

(発電電力量ベース17.5%)

東京エリア 2026年9月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

762.9GWh

需要ピーク

13:30、4,525万kW

連系線・その他

115.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

21.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,261万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は33.3%だった。



2026年9月2日の供給実績

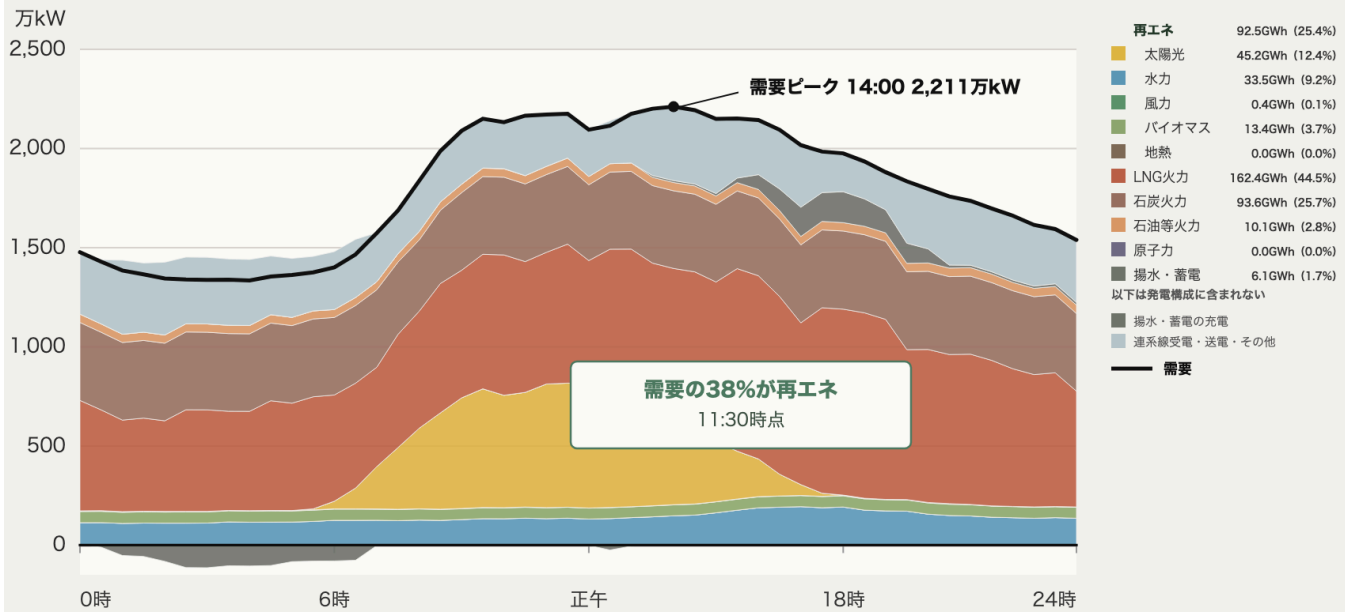
中部エリア

再エネ

92.5GWh

(発電電力量ベース25.4%)

中部エリア 2026年9月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

364.6GWh

需要ピーク

14:00、2,211万kW

連系線・その他

70.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

5.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク627万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は38.9%だった。



2026年9月2日の供給実績

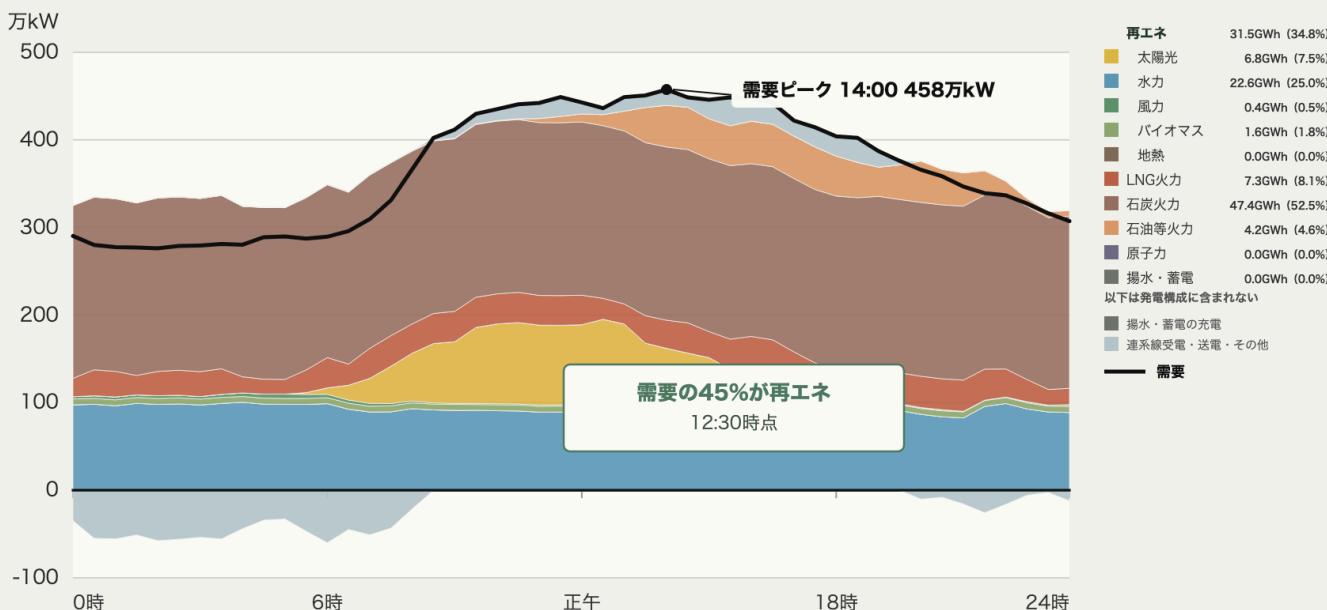
北陸エリア

再エネ

31.5GWh

(発電電力量ベース34.8%)

北陸エリア 2026年9月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

90.3GWh

需要ピーク

14:00、458万kW

連系線・その他

4.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク95万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は44.7%だった。



2026年9月2日の供給実績

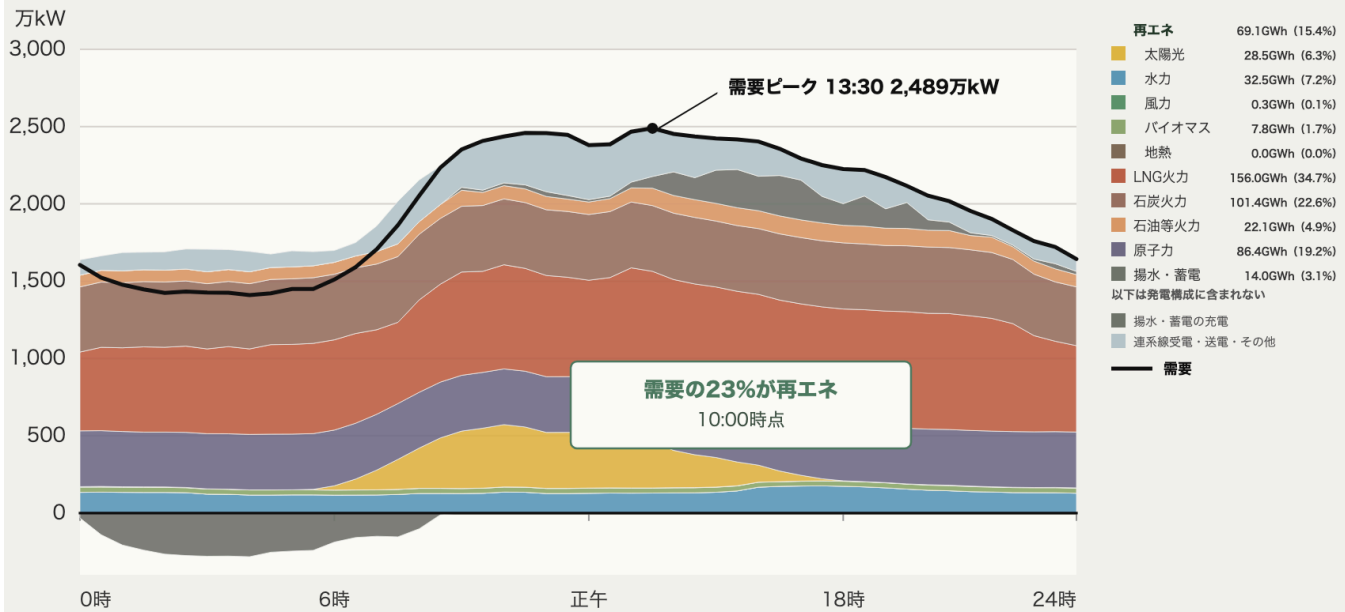
関西エリア

再エネ

69.1GWh

(発電電力量ベース15.4%)

関西エリア 2026年9月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

449.1GWh

需要ピーク

13:30、2,489kW

連系線・その他

45.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電

17.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク403万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.5%だった。



2026年9月2日の供給実績

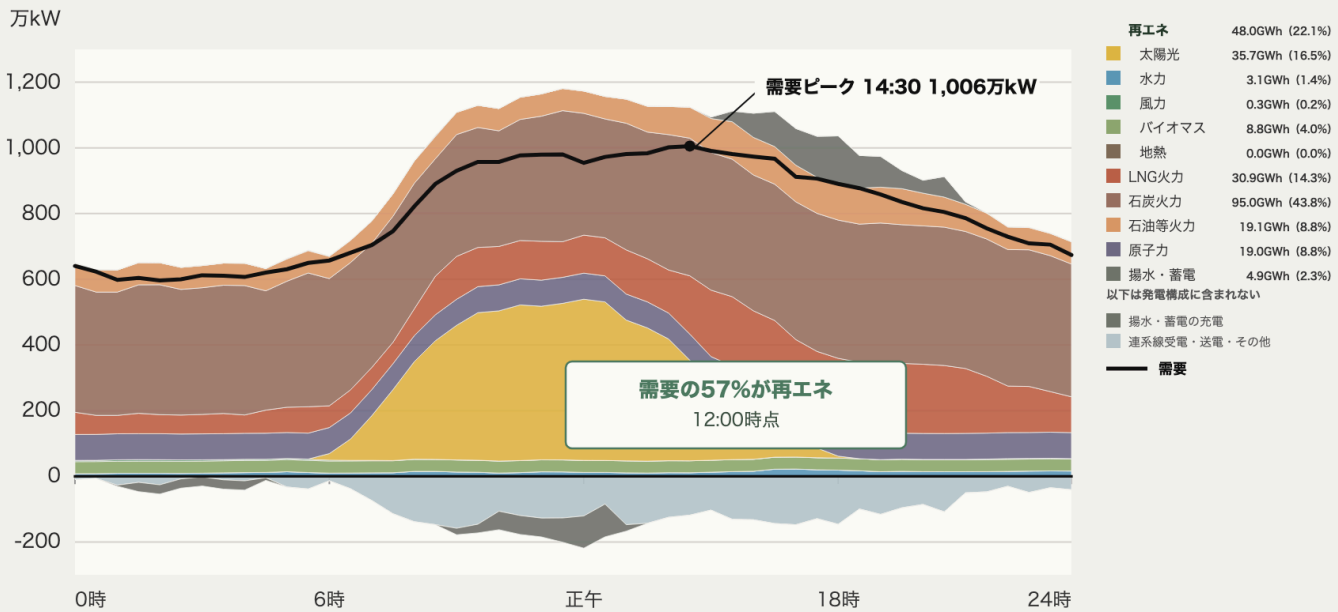
中国エリア

再エネ

48.0GWh

(発電電力量ベース22.1%)

中国エリア 2026年9月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

216.8GWh

需要ピーク

14:30、1,006万kW

連系線・その他

19.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

3.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク491万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は56.5%だった。



2026年9月2日の供給実績

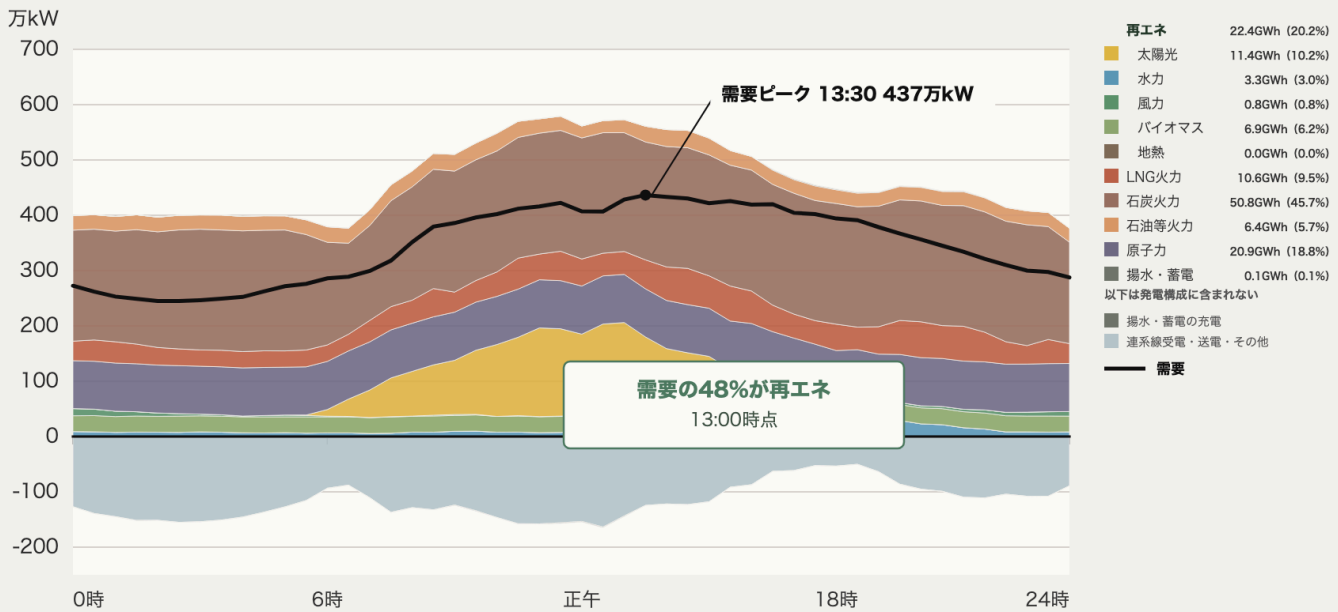
四国エリア

再エネ

22.4GWh

(発電電力量ベース20.2%)

四国エリア 2026年9月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

111.1GWh

需要ピーク

13:30、437万kW

連系線・その他

28.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク165万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は50.0%だった。



2026年9月2日の供給実績

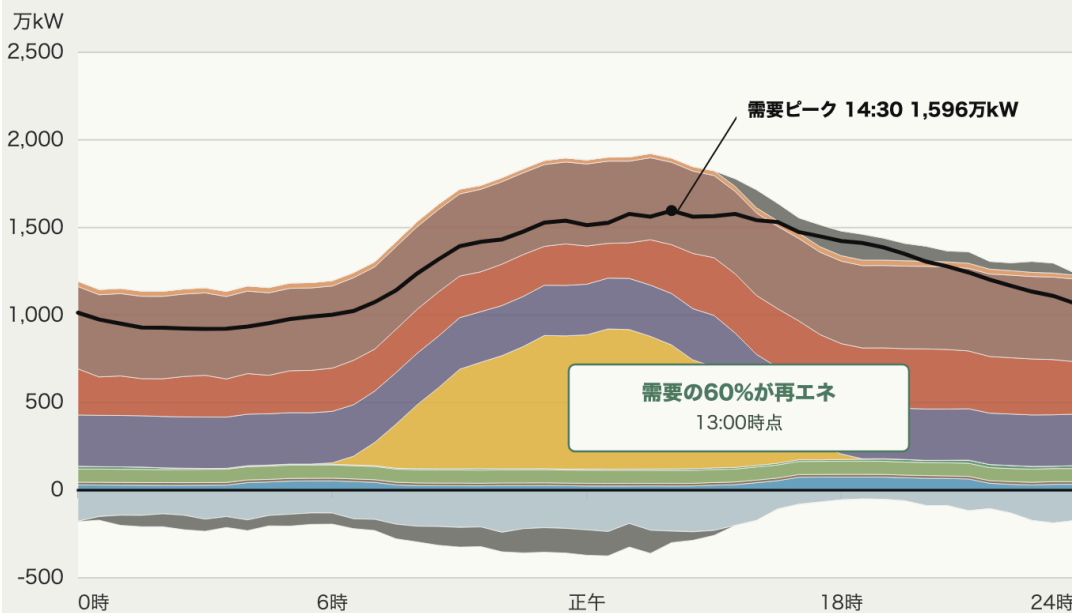
九州エリア

再エネ

92.0GWh

(発電電力量ベース26.0%)

九州エリア 2026年9月2日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 354.2GWh
(3,542万kWh)

再エネ	92.1GWh (26.0%)
太陽光	58.5GWh (16.5%)
水力	9.7GWh (2.7%)
風力	2.3GWh (0.6%)
バイオマス	18.0GWh (5.1%)
地熱	3.6GWh (1.0%)
LNG火力	65.4GWh (18.5%)
石炭火力	112.8GWh (31.9%)
石油等火力	6.7GWh (1.9%)
原子力	70.2GWh (19.8%)
揚水・蓄電	7.1GWh (2.0%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

354.2GWh

需要ピーク

14:30、1,596万kW

連系線・その他

38.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

13.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク801万kW、風力ピーク18万kWで、時間別の再エネ最大需要比は60.3%だった。



2026年9月2日の供給実績

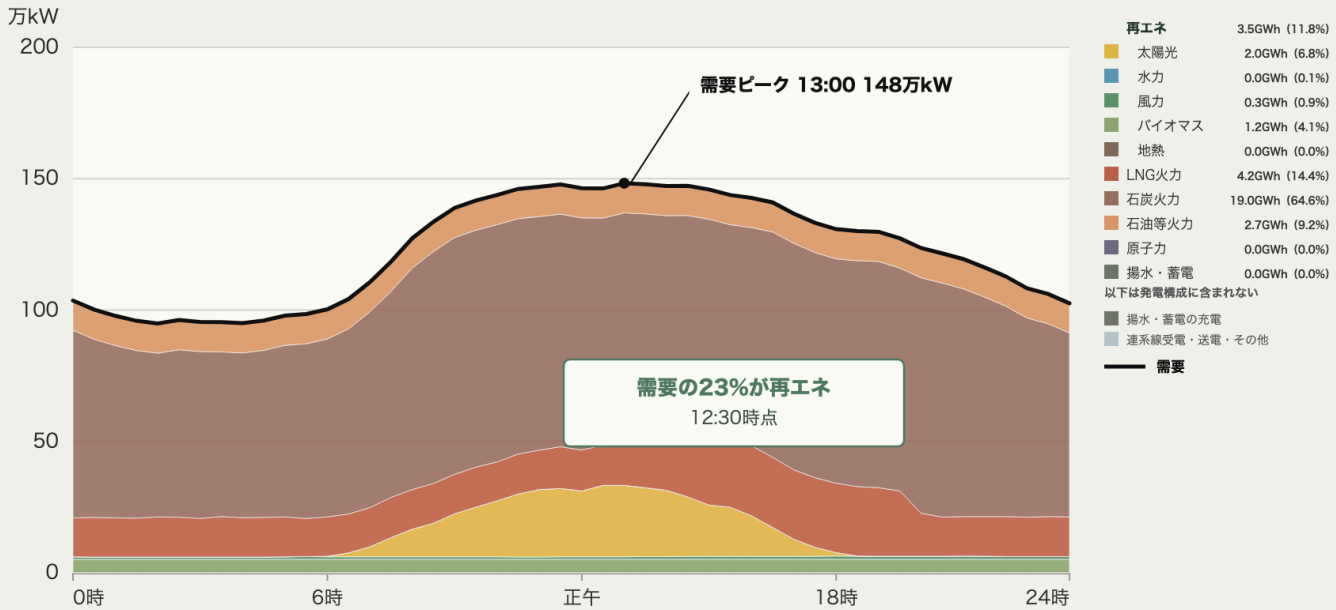
沖縄エリア

再エネ

3.5GWh

(発電電力量ベース11.8%)

沖縄エリア 2026年9月2日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

29.4GWh

需要ピーク

13:00、148万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク27万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は22.8%だった。